

## 事業概要シート

施策	2002	環境汚染対策の推進	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	騒音等対策事業	縮小	予算額	3,150 千円
事業期間	平成5年度 ~		<<	3,385 >>千円
根拠法令 要綱等	騒音規制法、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律、航空基地関係騒音等対策協議会規約		財源内訳	国庫支出金 500 千円
				県支出金 千円
				地方債 千円
				その他 千円
				一般財源 2,650 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

(目的)

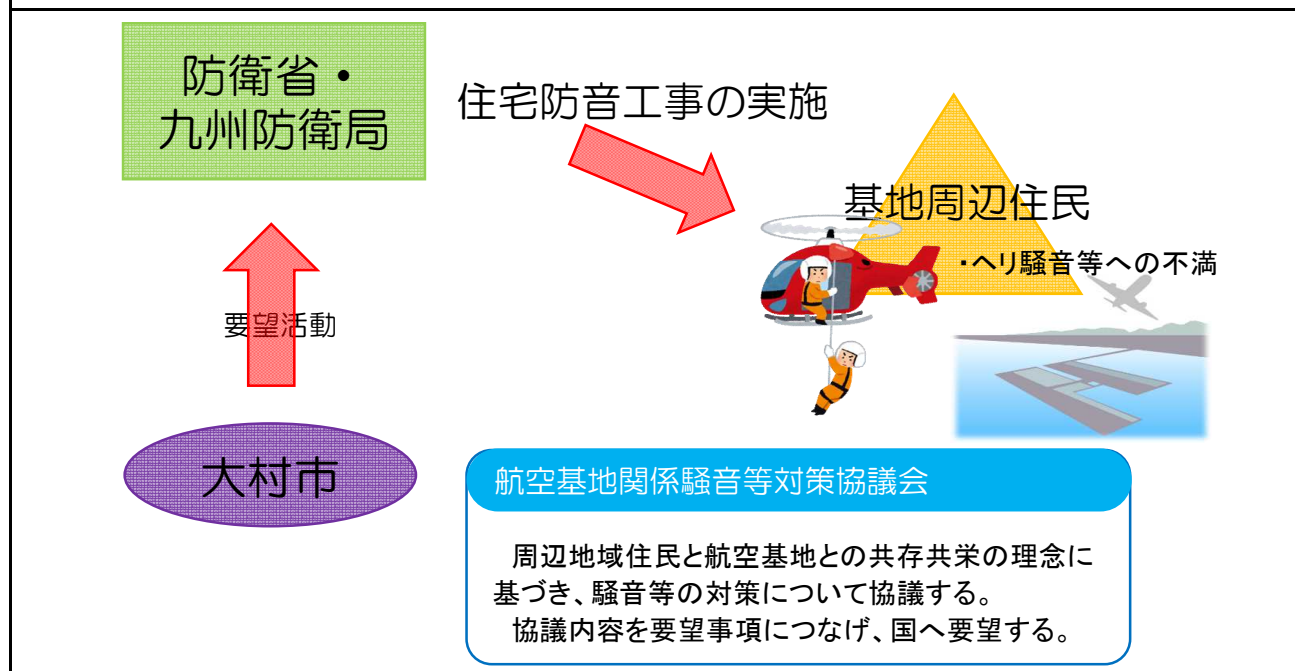
自衛隊基地周辺地域の騒音などの問題に対処し、周辺住民の居住環境の改善を図る。

(概要)

本市には、陸上自衛隊大村駐屯地、竹松駐屯地及び海上自衛隊大村航空基地があり、山間部に大多武演習場がある。特に大村航空基地の航空機騒音は、古賀島地区周辺地域の居住空間に重大な影響を及ぼしているため、国と地元住民の協議の場を設けるとともに、国への要望を行い、基地周辺住民の居住環境の改善を図る。  
 ※事業縮小の理由：第3水陸機動連隊の令和5年度配備完了に伴い、大村市陸上自衛隊水陸機動連隊連絡協議会への負担金がなくなるため。

(対象)

自衛隊基地等の周辺住民



**【背景】**

大村市に所在する3つの自衛隊基地のうち、大村航空基地の航空騒音が住民の生活に影響を及ぼしている。その軽減策として住宅防音工事が行われているが、地元住民の生活実態に適合した助成基準となっていない。

担当課	企画政策部企画政策課	課長	三岳 和裕
担当者	町田 康佑	問合せ先	0957-53-4111 (内線229)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	航空基地関係騒音等対策協議会の開催回数	回	1	1	1	1	1
②							

### 【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	騒音問題についての国等への要望回数	回	1	1	1	1	1
②							

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	3,921	3,320	3,385	3,150	3,150	3,150	20,076
国庫支出金	400	400	400	500	500	500	2,700
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,521	2,920	2,985	2,650	2,650	2,650	17,376
人件費	5,943	6,020	5,250	5,250	5,250	5,250	32,964
職員(人)	0.80人	0.80人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人	4.40人
時間外勤務(h)	63h	101h	80h	80h	80h	80h	484h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	9,864	9,340	8,635	8,400	8,400	8,400	53,040

妥当性 (市の関与)	基地周辺対策は本来国が行うべきものであるが、その対策窓口として市が関与することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	基地周辺地域の居住環境の改善に効果がある。
効率性 (コスト)	国への要望等に要する旅費、需用費等については、必要最小限に止めている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり